

ランブリング大須界限

大須に那古野山古墳があることをご存知ですか。現在は那古野山公園になっていますが、公園といっても大部分が古墳で小山のようになっているため、普通の公園のイメージはまったくありません。しかも、この場所は元々「浪越公園」という市内最初の公園の跡地だそうです。浪越公園は1905年に鶴舞公園が整備されたことから、廃園となりました。



那古野山公園

大須界限では、4種類のからくり人形が見ることができます。そのうち、万松寺の織田信長と大須観音の近くにある徳川宗春のからくり人形を見ることができました。



万松寺のからくり人形

万松寺の信長のからくり人形は、平成20年に故障してしまい、製作者が亡くなっており設計図もないためずっとそのままになっていました。

しかし、平成23年3月の東日本大震災を契機に大須から日本を元気にしようという思いで修復に取り組み、昨年末から再上演しているそうです。



宗春爛漫（徳川宗春）

演目は前半が、万松寺で行われた父信秀の葬儀で、信長が位牌に抹香を投げつける場面、後半が桶狭間の戦いの前に敦盛（幸若舞）を信長が舞う場面が演じられます。

大須には、認定地域建造物資産の「大須木造3階建」と登録地域建造物資産の「珈琲ぶりこ」があります。

大須にお立ち寄りの際は、ぜひ、足を運んでみてください。

(M. N)



珈琲ぶりこ



大須木造3階建